

令和3年度 府立宮津天橋高等学校宮津学舎 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階）

学校経営方針(中期経営目標)	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点(短期経営目標)
<p>我が国や地域の発展に貢献する「社会的使命感と青雲の志を持つ人」を育成する。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症に対する予防対策について、校内外の各種事業・行事等を個別に検討し、実施の可否を含め全教職員体制で推進することができた。 全HR教室にプロジェクタが設置されたこともあり、教職員のICT機器活用による授業改善とその研究は急速に進んだ。 宮津高校の教育活動を引き継ぎつつ、宮津天橋高校宮津学舎の1期生を自覚しながら生徒・教職員とも各種の活動に取り組んだ。入学後すぐに臨時休業があったが、学年団を中心に細やかな指導を行い、落ち着いた生活と学びあえる集団を形成することができた。 各教科や総合的な探究の時間だけでなく、各種行事にも探究的な要素を取り入れ、さまざまな制限がある中でもその内容を充実させることができた。特に総合的な探究の時間の中で、SDGsを題材にグループで研究・発表を行い、次年度の課題研究の足がかりとなった。 部活動加入率は92%。インターハイ等多くの大会が中止となる中、ボート部の生徒が全国大会へ出場した。また、フィールド探究部の里山での活動や巨樹調査も評価され、日本森林学会大会で最優秀賞を受賞した。建築科の看板製作や小中連携事業の補助など特徴的な取組もあり、多方面で評価された。 第26回美術書道作品展は開催できなかったが、その代替として全選択生徒及び部活動の作品を掲載した作品集を制作することができ、好評を得た。 総合的な探究の時間、部活動、建築科の取組、ボランティア活動、学校行事などを通して、各種教育機関や諸団体との連携を深めることができた。 各種講演会を通して自己と他者の人権尊重について多面的に考えさせることができた。 P T A活動にも制約が多かったが、実施方法を模索し、一部を実現することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単位数が増加する2年次の総探をはじめとした教育活動が、生徒の進路選択を含めたキャリア形成により良い影響を与えられる取組となるよう検証と実践を繰り返す。 1年間を通して学習習慣は一定、定着してきたが、目標に対して主体的に取り組む力が弱く、目標に取り組む力、継続力、突破力を身につけさせる必要がある。 部活動は多くの大会が中止や規模縮小を余儀なくされ、ボランティア活動も制約が多く、貴重な成長の場が失われた。コロナ禍の中でもさまざまな対策を講じて活動の場を確保していかなければならない。 命と人権を尊重する態度を育てる教育活動をさらに充実させるための校内体制の構築と家庭・地域との連携を一層推進する。 HPや広報誌、各種説明会等を通して情報発信に努めたが、生徒・家庭や地域社会に向けて本校の情報を的確かつタイムリーに発信していく方策について検討していかなければならない。 宮津高校2・3年生とは、部活動や学校行事などを通して一体感を高めることができた。一方、加悦谷高校・加悦谷学舎とは部活動の合同練習は夏以降にスタートしたが、その他の取組はコロナ禍により実現できなかった。 	<p>自立する個性を目指し、智力・人間性・体力が高度に調和した生徒を育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教職員の資質向上と教育環境の整備を進め、教育課題に組織的に対応する体制を充実させる。 2 宮津高校全日制最終年にあたり、加悦谷高校との連携や宮津天橋高校への移行を円滑に推進するための取組を充実させる。 3 探究活動を通して一人ひとりの優れた能力・適性を伸張させ、希望進路の実現に結びつく確かな学力を養成する。 4 部活動や各種体験活動を通して能力と可能性を広げるとともに、自主自律の精神と社会的使命感を育む。 5 命と人権を尊重する態度を育てる教育活動を充実させるとともに新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安心・安全を保障する学校づくりを進める。 6 家庭・地域社会と一層の連携を図り、チームとして教育活動を充実させる。 <p>○育てる人物像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主自律の精神を持って学び続ける人 ・個性や能力を伸ばし夢に挑戦する人 ・人や社会とつながり未来を創造する人

評価領域	重点目標	具体的方策	評価			成果と課題
学校経営 組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員の資質向上と教育環境の整備を進め、教育課題に組織的に対応する体制を充実させる。 ○宮津高校全日制最終年にあたり、宮津天橋高校への移行や加悦谷高校との連携を円滑に推進するための取組を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の学力向上と教職員の授業改善・業務改善につながるICT機器の有効活用について、さらなる研究を推進する。 ○研修等を計画的に実施し、各種教育課題についての理解を深め、日々の教育活動に反映させる。 ○宮津高校全日制の閉制や宮津天橋高校への移行、加悦谷高校との連携等についてさまざまな課題を整理し、関係機関と協力しながら準備と取組を計画的に推進する。 				
学習指導 進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ○探究活動を通して一人ひとりの優れた能力・適性を伸張させ、希望進路の実現に結びつく確かな学力を養成する 	<ul style="list-style-type: none"> ○新学習指導要領の先行実施や大学入学共通テスト等に対応できる教育を推進するとともにその基盤となる学力を醸成する。 ○さまざまな探究活動で取り組んできた成果と課題も踏まえながら、それぞれの生徒の主体的な進路選択とその実現に向けての過程を組織的に支援する。 				
生徒指導 特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ○部活動や各種体験活動を通して能力と可能性を広げるとともに、自主自律の精神と社会的使命感を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら考え行動できる生徒の育成を念頭に置き、規範意識の向上に向けた取組を一層充実させる。 ○生徒が達成感と充実感を味わうことができる部活動やボランティア活動、学校行事等を運営する。 				
健康安全	<ul style="list-style-type: none"> ○命と人権を尊重する態度を育てる教育活動を充実させるとともに新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安心・安全を保障する学校づくりを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○時宜に応じた面談や声かけ、家庭や関係機関との緊密な連携を図りながら思春期の心の揺れを受けとめ、関係者で情報を共有しながら対応できる体制を構築する。 ○新型コロナウイルス感染症に係る最新情報を常に入手し、安心・安全な学校生活を送ることができるよう各種事業における対策を検討する。 				
家庭・地域 社会連携	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭・地域社会と一層の連携を図り、チームとして教育活動を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各種説明会やHP等における本校教育に係る魅力発信や校内外への情報伝達について有効な手段・方法等の研究を推進する。 ○コロナ禍においてもキャリア教育の充実、家庭や地域の各種機関等との連携方法を模索し、幅広い学力と郷土愛の醸成に努める。 				

